

H31 1 (1)

【出題の趣旨】

目的や意図に応じ、調べたことを報告する文章を、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くことができるかどうかをみる。

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに
先月外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こままってしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思ひ、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが「資料1」です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分まで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなつてしまつたのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。そこで、地いきの人三十人を調査の「たいしよ」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが「資料2」です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのようない方や特しようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のようない方や特しようがありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができひる。
・停電のときでも、硬貨を使って通話することができひる。
・電話が混み合つてるときでも、優先的につながらりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができひるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのようない場所にあるのか
公衆電話を必要なときに使うことができひるようにするためには、どのようない場所に設置されているのかを前もつて知つておくことが大切だと思つたので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが「資料3」です。この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

3 調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなつてしまつたわけではないと考へました。なぜなら、

また、公衆電話を使ひたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとこのも考へました。今回の調査を通して知つたことを、学級の友達に「かぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について「かんしんをもつてもらひたいと思ひます。

一 高橋さんは、「報告する文章」で「資料2」と「資料3」を、それぞれどのような目的で用ひていますか。その説明として最も適切なもの、次の1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 現在と過去の様子を並べて示し、二つのちがいを伝えるため。
2 内容ごとに分類して示し、大まかな特しようを伝えるため。
3 年度ごとの数値をグラフで示し、移り変わりを伝えるため。
4 記号や印などを使って示し、実際の位置を伝えるため。
5 説明したい場所やものを写真で示し、実際の様子を伝えるため。

「資料2」……

「資料3」……

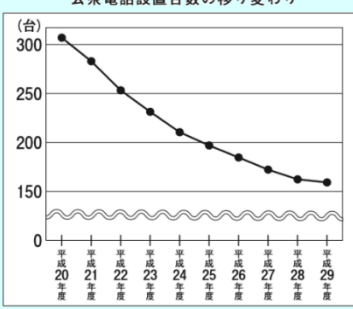
「資料3」 公衆電話の設置場所を示した地図



「資料2」 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

Table with 2 columns: Reason for needing public phones and Number of responses. Includes categories like 'Need when mobile phone is forgotten' (22), 'Need when mobile phone battery is dead' (12), etc.

「資料1」 公衆電話設置台数の移り変わり



【正 答】

「資料2」に2
「資料3」に4
と解答しているもの

【予想される誤答例】

「資料2」に2と解答しているが「資料3」に4と解答していないもの

【誤答の原因】

・【報告する文章】で「資料2」を用いた目的を捉えることはできているが、「資料3」を用いた目的を捉えることができていない。
・目的や意図に応じた図表やグラフを用いることができていない。

【指導のポイント】

- ・書く目的を明らかにして、自分の考えの根拠となる事実について、図表やグラフなどから選んだり、分かりやすく作成したりするように指導する。
・用いた図表やグラフが「自分の考えを裏付ける事実になっているか」「相手に伝わる適切な図表やグラフを選んでいるか」について、ペアや小グループで交流する場を設定する。
・調べた結果を分類・整理してキーワード化したり、要点をまとめたりするよう指導する。

【過去の類似問題】

平成28年度全国学力・学習状況調査 B 2 二(1)

平成28年度全国学力・学習状況調査 B 2 二(2)

H31 2-1(2)

【出題の趣旨】目的に応じて、文章の内容を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことができるか。

【問題】「ノートの一部」のイに入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

【ノートの一部】

② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、

イ

〈条件〉

○ 疑問に思ったこと ②の答えになるように考えて書くこと。

○ 資料から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 四十字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

【疑問に思ったこと】

① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。

② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

【資料の一部】食べ物を保存する

◆ 食べ物

は生命の源。生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさんの食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができませんでした。いつでもおなかを満たすことができたというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運よく大量の食べ物が入ったとしても、くさって食べられなくなってしまうこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらよりよい保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

※ 正答例 ※ 季節や天候により、食べ物が手に入らないことや、手に入っても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともあったから。(六十九字)

授業場面で(目的に応じて、必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが見られる授業)

答えの文をまとめましょう。
《文字数・取り上げた理由を確認》
2つの理由を使い、40字以上、80字以内くらいの一文中に整理して書きましょう。

Point【振り返り】
焦点化した明確な発問をし、文字数や取り上げた理由を使うといった条件や一文に整理することを児童と確認し合います。

各自で調べたことが、自分の問いに対する答えになっているかを確認してみましょう。
そして、各自で問いと答えの文を書きましょう。

Point【振り返り】
「自分の学習に対する考察(振り返り)」では、どのような見方・考え方を働かせ、どのような能力が身に付いたかを、個々が紹介したい内容の問いと答えを書き表すことで、明確に価値付けます。

まずは、この問いが、何を答える問いなのかを考えてみましょう。

Point【見方・考え方の発揮】
問いの種類(5W1H)と、問いに適應する答え(理由、成り立ち、性質、場所等)を既習とつないで確認します。

この問いは、資料から理由を取り上げるといいですね。理由はいくつありますか。また、どのようにまとめたらいいでしょう。

理由は3つの文から考えられそうです。ただし、「お腹を満たすことができない」理由が、次の文に詳しく書いているので、これは、後の文だけを使えばいいと思います。

もう一つの理由は、「食べ物が腐る」ことです。この2文が理由になりますね。

Point【交流の質】
根拠となる文を多く取り上げて、次に取捨選択をし、答えの根拠を明確にします。

資料を読んで「問い」に対する「答え」をつくりました。この答えで読む人に調べて分かったことがはっきりと伝わりますか？

いつでもお腹を満たすことができなかったのはなぜだろうと新たな疑問が生まれるな...

そうだね。資料を読むと、より詳しい理由が書いてあるよ。

資料から問いや条件に必要な内容を取り出して、読み手に伝わるような答えをつくりましょう。

Point【問いの重視】
問いの答えとして不足する内容【不十分さ】を取り上げることで、問題意識が高まります。また、めあてや学習の見通しで資料を根拠に、問いや条件に合う理由を整理し、まとめて書くことを共有します。

導入 → **展開** → **終末**

問い
なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

答え
食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができなかったというわけではないから。

どうしてお腹を満たすことができなかったのか新たな疑問が生まれる。

めあて
紹介に生かせるように、調べたことが、問いや条件にあった答えになっているか確かめよう。

どんな問い
→ 理由

どうして・なぜ
→ 仕組み・成り立ち・方法など

どんな
→ 形・せいしつ・働きなど

適切な理由を取り出す

理由①
保存技術がないころは、おなかを満たされない

理由②
季節や天候により、農作物や肉、魚が手に入らない

理由③
季節や天候により、食べ物が手に入らない

言葉を書きかえて

条件に合わせる
季節や天候により、食べ物が手に入らないことや、手に入っても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともあったから

そのままにしておくと、くさって食べられなくなる

まとめ
問いに対する答えが何かを考えて適切な情報を選び出し、条件に合わせてまとめたり、言葉を置きかえたりすることが大切になる。